

呼吸器内科研修の充実のための研修医のニーズ評価と指導医間での情報共有の取り組み

笠井 大<sup>1</sup>，田島 寛之<sup>1</sup>，齋藤 合<sup>1</sup>，鈴木 優毅<sup>1</sup>，鹿野 幸平<sup>1</sup>，  
日野 葵<sup>1</sup>，安部 光洋<sup>1</sup>，坂尾 誠一郎<sup>1</sup>，巽 浩一郎<sup>1</sup>，伊藤 彰一<sup>2</sup>，  
鈴木 拓児<sup>1</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院呼吸器内科
- 2) 千葉大学大学院医学研究院医学教育学

## 要旨

目的：千葉大学医学部附属病院呼吸器内科での医師臨床研修における取り組みの効果を検証した。

方法：2020年度より指導者間で研修医面談によるニーズ評価と日々の研修内容の情報共有を行い、研修の調整を行った。研修満足度や研修内容に関してアンケートで2019年度と比較した。

結果：2019年度と比較し研修満足度が有意に高くなり、経験できた項目や疾患が増加した。呼吸器内科への興味も有意に高かった。

結論：指導者間の学習者ニーズ、研修内容の情報共有は研修医の満足度を向上させ、研修の充実につながる。

キーワード：呼吸器内科 (Respiratory medicine), 医師臨床研修 (clinical resident training), 臨床研修医 (clinical trainee)

短縮タイトル：千葉大学病院呼吸器内科研修の充実のための取り組み